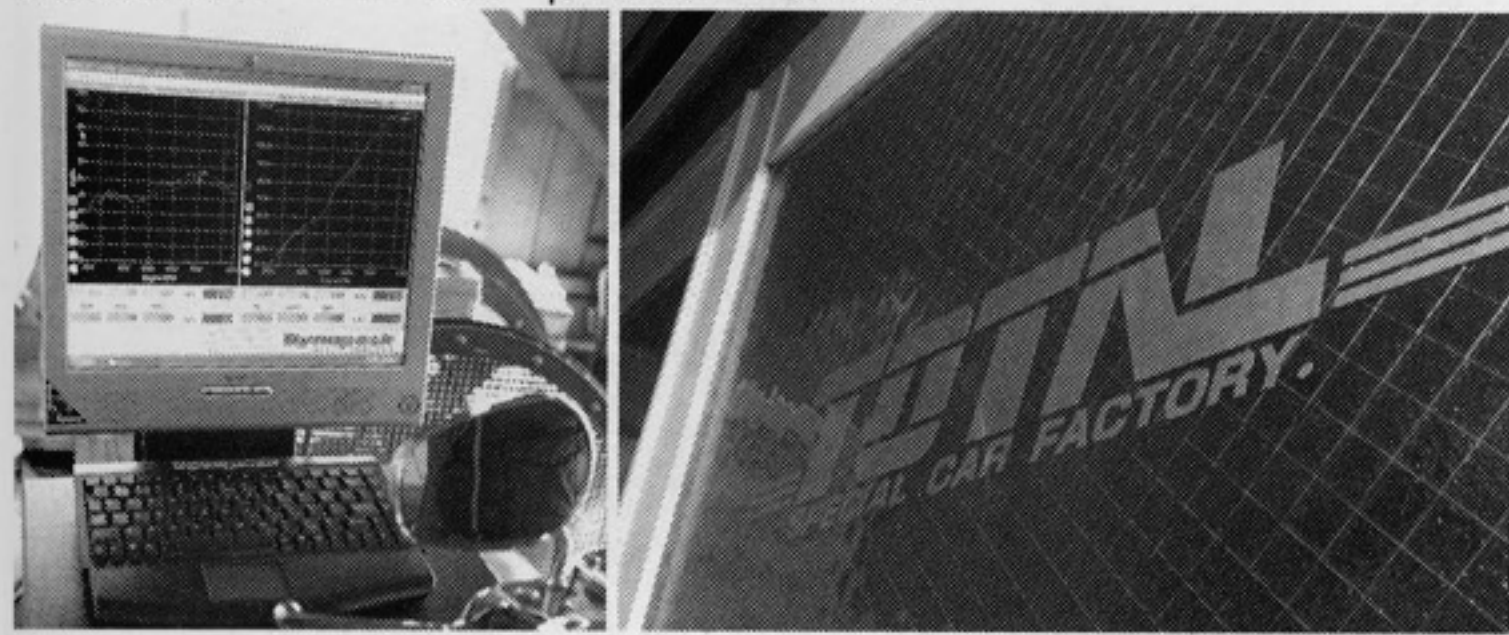


V-ROD TUNING PROGRAM

V-ROD THE PASSION! 未体験ゾーンへいざなう チューニングショップ

2002年、カンパニーが満を持して市場に放ったV-ROD。水冷DOHC、挟角60度の次世代ハーレーダビッドソンとして新たなマーケットを開拓したモデルである。秘められたV-RODのポテンシャルを最大限に引き出すべく日々チューニングを重ねるショップ、ガレージトータル。世界有数のシャシーダイナモを使ったその現場に迫る!

撮影◎磯部孝夫 photographs by Takao Isobe
取材協力／ガレージトータル phone 04-7133-2226



千葉県柏のチューニングカーショップ、ガレージトータル。ポルシェやフェラーリ、国産フェアレディ等のチューニング、エキゾースト製作を手掛けるスペシャルショップである。

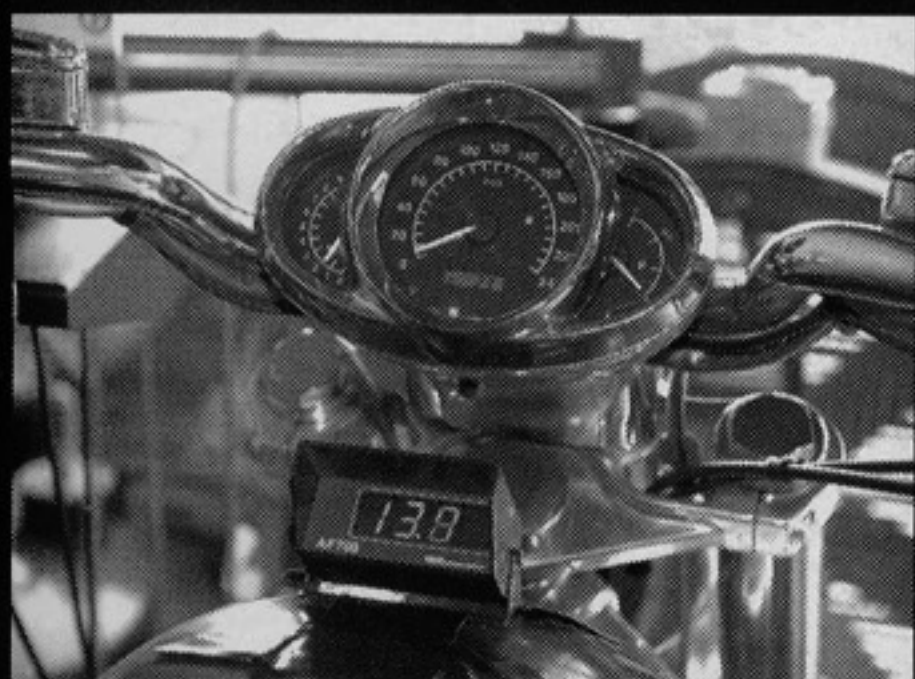
カーシーンでは広くその名が知られるが、代表小里さんのハーレー好きが高じてV-RODのインジェクションチューニングを開始。チューニングカーの第一線に身を置くノウハウを生かし、独自のデータでチューニングを展開している。

データ取りには世界に3台しかないと言うダイナパックのシャシーダイナモを使用。リアタイヤを外し直接スプロケットにセットすることで、高負荷を掛けても数値ロスは極僅か。これはエンジンベンチを掛けるのとはほぼ変わらず、通常のシャシーダイナモに比べより正確な数値取りが出来るそうだ。

チューニングにはブルーライトニング社のI-CON IIと、自動車チューニングメーカーHKSのF-CON-VPROを使用。I-CON IIはノーマルのブラックボックスに

擬似信号をデバイスし燃料コントロールする、いわゆるサブコン。一方F-CON-VPROはマッピング、空燃費、点火時期等の全てをブラックボックス無しでPCセッティングするフルコンと呼ばれるもの。現在ガレージトータルではサブコンをメインに、要望があればフルコンチューンにも対応している。

ストック時の燃料供給の薄さを改善しデータ補正するサブコンチューニング。燃料を「1」とした時の空気量である空燃費は、ストック時が約15.0と薄いのに対し、一番“おいしい”セッティングは若干リッチな14.0前後とガレージトータルは提唱する。そのパフォーマンスは左のデータをじっくり眺めてもらいたい。「見てくれでなく中身で勝負」。ストイックなレースチューニングの世界で育まれた人特有のポリシーを持つ小里さん。トータル15万円で容易く10馬力アップを実現するサブコンチューニング。「1馬力アップ1万強ですね」。その発想もまた、レーシングショップならではのものだ。



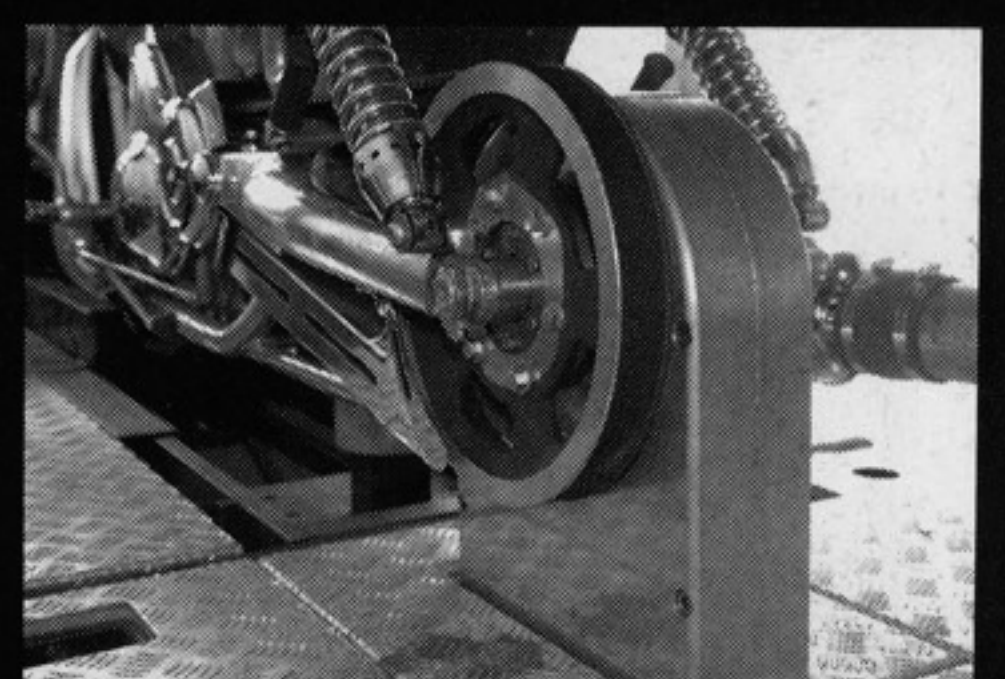
ストック時の約15.0に対しガレージトータルがベストと考える空燃費は約14.0。測定に当たり高度や外気温に對し的確な数値を得る為O2センサーを装着する。



F-CON-VPROを使ったフルコンチューニングもオーダー可能。現在、キットをシート内に収めるボックススペースを確保したシート開発も手掛けている。



ショップ内に広々とスペースが確保されたチューニングルーム。現在は代表の愛車でもあるV-RODをメインに扱うが今後はビッグツインも手掛ける予定。



リアタイヤをローラー上に載せる通常のシャシーダイナモに比べペーリーからの測定でより正確な数値が取れるダイナパック。専用治具はワンオフにて製作。